

ハプティクスデバイスによる描画ソフト

3D Systems社製ハプティクスデバイスを使用して 仮想空間上のホワイトボードに力覚フィードバックを感じながら描画をすることができるシステム

▶ 描画ソフトのソースコード付属

3D Systems社製ハプティクスデバイスで動作するソフトウェアです。開発用ツールOpenHapticsを利用して開発が可能です。

▶ ハプティクスデバイス

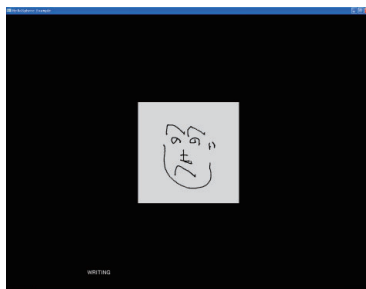
3D Systems社製ハプティクスデバイスは、ユーザーがPC上の仮想オブジェクトに触れて操作できる高精度の力覚インタラクションを実現するデバイスです。

▶ 利用例: 遠隔制御システム

生徒が先生のペンの動きを体験する力覚を利用した遠隔習字システムなどの研究に利用可能です。

製品概要

本システムは、ハプティクスデバイスを使用して、仮想空間上のホワイトボードに描画した情報をバッファとして保持します。



描画ソフト



ハプティクスデバイス

製品構成

ソフト：
Phantom Writing × 1本
(ソースコード付属)

ハード：
3D Systems Touch × 1台
※スペックは別紙カタログ参照

開発環境のシステム構成(最小構成)

O S : Microsoft Windows 7 以降

C P U : 特に制限なし

H D D : 50MB 以上の空き容量

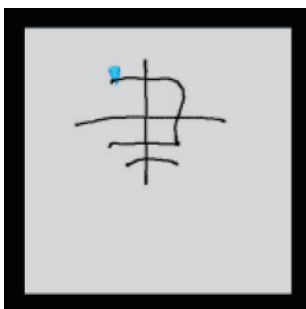
Memory : 128MB 以上

Graphics : OpenGL対応ボード

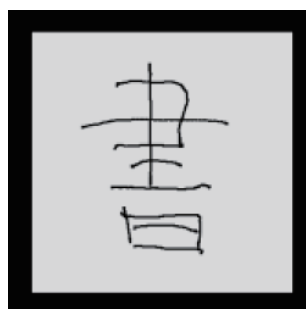
※本システムの使用にあたり、上記のスペックを満たすPCが必要です。

描画ソフトの機能

- ・WAITING (待機) モード: 描画待機の状態です。文字は表示されません。
- ・WRITING (描画) モード: 描画中の状態です。描画の毎フレームで文字内容が保存され、文字がホワイトボード上に表示されていきます。
- ・FINISH (終了) モード: 描画終了の状態です。文字は表示されたままですが、描画はできません。



描画モード: 描画中の状態



Finishモード: 描画終了